

情報通信審議会 情報通信技術分科会  
放送システム委員会（第 76 回） 議事概要

1 日時

令和 4 年 10 月 27 日（木） 13:30～14:20

2 場所

WEB 会議での開催

3 議題

(1) 前回議事概要の確認について

(2) 地上デジタル放送方式に関する技術的条件について

- 地上デジタル放送方式高度化作業班の検討状況について
- 放送システム委員会報告 目次案について

(3) 放送に係る安全・信頼性に関する技術的条件について

- 「地上デジタルテレビジョン放送等の安全・信頼性に関する技術的条件」の検討開始について

(4) その他

4 出席者（順不同、敬称略）

【構成員】伊丹主査（東京理科大学）、都竹主査代理（名城大学）、大島委員（東京大学）、  
雨宮専門委員（日本 CATV 技術協会）、井家上専門委員（明治大学）、  
岩崎専門委員（東京農工大学）、上園専門委員（日本ケーブルラボ）、  
大槻専門委員（慶應義塾大学）、甲藤専門委員（早稲田大学）、  
児玉専門委員（電波産業会）、関根専門委員（明治大学）、  
丹専門委員（北陸先端科学技術大学院大学）、豊嶋専門委員（NICT）、  
山田専門委員（関西学院大学）

【オブザーバー】土田氏（電波産業会デジタル放送システム開発部会委員長）、岡野氏（同部会地上デジタル放送伝送路符号化作業班主任）、数井氏（同部会映像符号化方式作業班主任）、浦野氏（同部会音声符号化方式作業班主任）、中山氏（同作業班 DG リーダー）、山影氏（同部会多重化作業班主任）、大竹氏（同部会権利保護作業班主任）

【事務局】総務省情報流通行政局放送技術課（翁長課長、羽多野課長補佐、中尾課長補佐、金子課長補佐）

5 配付資料

資料 76-1 放送システム委員会（第 75 回）議事概要（案）

資料 76-2 地上デジタル放送方式高度化作業班検討状況報告

資料 76-3 放送システム委員会報告目次（案）

資料 76-4 「放送システムに関する技術的条件」に係る今後の検討スケジュール  
(案)

資料 76-5 「地上デジタルテレビジョン放送等の安全・信頼性に関する技術的条件」  
の検討開始について

参考資料 76-1 地上デジタル放送方式高度化に関する中間報告 概要【電波産業会】

参考資料 76-2 地上デジタル放送方式高度化に関する中間報告【電波産業会】

参考資料 76-3 放送システム委員会運営方針

参考資料 76-4 情報通信技術分科会 放送システム委員会 構成員一覧

## 6 議事概要

議事次第に沿って検討が行われた。議事概要は以下のとおり。

### (1) 前回議事概要の確認について

前回議事概要(案)(資料 76-1)が承認された。

### (2) 地上デジタル放送方式に関する技術的条件について

大槻専門委員より、地上デジタル放送方式高度化作業班の検討状況について、資料 76-2 に基づき説明があり、以下のとおり質疑が行われた。

(伊丹主査) 地上放送高度化方式における伝送路符号化方式について、オフセット値を 1/18 MHz と決めたのは、チャンネルの上端を超えないことを考慮して決めていると認識している。オフセット値を 1/18 MHz とすることによって、チャンネル内の上下のスペースが現行地デジと同じ大きさではなくなるが、干渉の影響はどうなるのか。

(岡野氏) オフセット値については現在、実際に放送ネットワークを設計していく上で問題がないか議論をしている状況にある。

(雨宮専門委員) オフセット値の 1/18 は循環小数となる。周波数の許容偏差にも関係すると思うが、有効桁数を決めるなどにより確定値があった方が良いのではないか。この点についても確認中という理解で良いか。

(岡野氏) 現行の地デジもオフセット値は 1/7 MHz であり、同様に循環小数になっており、これと同じような考え方で規定したい。また、高度化方式のオフセット値は、現行地デジの周波数許容偏差が 20 kHz であることも加味して、チャンネルからはみ出さないように設計している。

事務局より、放送システム委員会報告書の目次案について、資料 76-3 に基づき説明が行われた。(質疑なし)

事務局より、「放送システムに関する技術的条件」に係る今後のスケジュールについて、資料 76-4 に基づき説明が行われた。(質疑なし)

(3) 放送に係る安全・信頼性に関する技術的条件について

事務局より、「地上デジタルテレビジョン放送等の安全・信頼性に関する技術的条件」の検討開始について、資料 76-5 に基づき説明が行われた。説明後、「放送設備安全信頼性検討作業班」の主任として甲藤専門委員が指名された。また、作業班の構成員は資料 76-5 のとおりとし、調整中の構成員の指名については伊丹主査に一任された。(質疑なし)

(4) その他

事務局より、次回の開催日程は別途調整する旨の連絡があった。

(以上)